



農林水産部

1 事業概要

(1) 農林水産部の紹介

「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランや「第2期岩手県ふるさと振興総合戦略」に掲げる取組等を着実に推進しながら、人口減少対策とともに燃料・資材等の価格高騰、主要魚種の不漁などに的確に対応し、

- ① 生産者が意欲と希望を持って生産活動に携わる農林水産業
- ② 次代を担う若者等が積極的に参入する農林水産業
- ③ 国内外の消費者等から評価・信頼される農林水産業

など、生産者や消費者が豊かさ・恵みを実感できる本県農林水産業の実現を目指しています。

(2) 重点施策

① 東日本大震災からの復興における重点取組

- ・主要魚種の資源回復
- ・増加している資源の有効利用
- ・新たな漁業・養殖業の導入・拡大

② 4つの重点事項における重点取組

ア 自然減・社会減対策

- ・新規就業者の確保・育成の推進
- ・女性農林漁業者が活躍しやすい環境づくりの推進
- ・農山漁村への移住・定住を見据えた交流活動の推進
- ・地域が取り組む海業のビジネスモデルづくりの推進

イ GXの推進

- ・環境負荷を低減する農業生産の推進と地球温暖化に適応した品種の開発
- ・森林経営計画に基づく森林整備等による吸収源対策の推進
- ・「いわて森林の感謝祭」の開催など全国植樹祭のレガシーを継承する取組の推進
- ・「ブルーカーボン」の増大に貢献する藻場の再生・造成

ウ DXの推進

- ・データ駆動型農業技術の開発・普及
- ・デジタル化した森林データの活用を普及・指導する人材の育成
- ・ECサイトなどを活用した農林水産物の販路開拓

エ 安全・安心な地域づくり

- ・自然災害に強い農山漁村づくりの推進
- ・家畜衛生対策の推進と鳥インフルエンザ等の危機事案発生時の体制強化
- ・シカ、イノシシ等の有害鳥獣被害防止対策の強化

③ 農林漁業者の収益力アップと食料・木材の安定供給における重点取組

- ・燃料・資材等の価格高騰を踏まえた中長期的な視点に立った経営体質の強化に向けた生産コストの低減や生産量の増大の推進
- ・10年後に目指すべき将来の農地利用の姿を定めた地域計画の策定支援

- ・需要に応じた米生産の推進、米の消費拡大・評価向上
- ・野菜等の高収益作物の作付拡大の推進
- ・主伐から再造林までの一貫作業の推進
- ・海外の市場動向等に的確に対応した県産農林水産物の輸出促進・販路拡大、生産物の高付加価値化の推進

④ 気象災害への対応における重点取組

- ・大雪・強風災害（令和6年2月25日～28日）により被災した農林漁業者の早期経営再開に向けた施設等の復旧支援
- ・果樹の凍霜害への対応等の地球温暖化対策の推進

2 部局プロフィール

(1) 分掌事務

| 室課等名 | | 主な分掌事務 | |
|--------|------------------|---|--|
| 本 庁 | 農林水産企画室 | 農林水産行政の企画及び調整、県北沿岸地域の農林水産業の振興、部内の事務管理・人事・経理・物品の管理、農林水産業の復興に向けた施策の推進 | |
| | 団体指導課 | 農林水産業に係る金融、農林水産業に係る協同組合等の指導監督 | |
| | 流通課 | 農林水産業の6次産業化、農林水産物の流通改善及び消費の宣伝 | |
| | 農業振興課 | 農業行政の企画及び調整、農業構造政策、中山間地域の農業の活性化、農地等の権利移動及び転用の制限その他農地関係の調整 | |
| | 農業普及技術課 | 農業関係試験研究と農業関係改良事業との連絡調整、農業担い手の育成及び確保 | |
| | 農村計画課 | 農業農村整備事業の企画調査、農業土木工事に係る検査及び技術の指導、農業基盤整備資金に関すること。 | |
| | 農村建設課 | 農業農村整備事業の実施、農地及び農業用施設に係る災害に関すること。 | |
| | 農産園芸課 | 水田農業の構造改革、園芸特産作物の生産振興 | |
| | 畜産課 | 畜産経営、肉用牛及び中小家畜の生産振興、家畜の防疫及び衛生 | |
| | 林業振興課 | 林業行政の企画及び調整、いわての森林づくり県民税による森林環境保全施策、木材の生産・加工・利用 | |
| | 森林整備課 | 森林計画制度、緑化の推進、森林病虫害等防除 | |
| | 森林保全課 | 森林における開発行為、治山事業、県有林の造成・管理・処分 | |
| | 水産振興課 | 水産行政の企画及び調整、沿岸漁業の構造改善、遊漁及び海面利用の調整 | |
| | 漁港漁村課 | 漁港の維持管理、水産基盤の整備 | |
| | 競馬改革推進室 | 岩手県競馬組合の改革推進の支援 | |
| | 出 先 機 関 | 家畜保健衛生所 | 家畜衛生に関する思想の普及及び向上、家畜の伝染病の予防、家畜の生産技術の向上及び畜産物の安全性の確保 |
| | | 漁業取締事務所 | 漁業に関する法令違反の取締り |
| | | 生物工学研究所 | バイオテクノロジーの研究 |
| | | 農業研究センター (畜産研究所及び岩手県病虫害防除所を含む。) | 農業経営の研究、試験研究（農作物等の品種改良及び栽培方法・農業の機械化・農業生産環境・家畜及び家きんの育種・飼料作物・畜産環境など）、農業気象及び作況の調査、人工授精用精液の生産及び配布、植物の検疫、病虫害防除についての企画 |

| | |
|-------------|--|
| 林業技術センター | 森林及び林業に関する研究及び研修、木材の優良種苗の生産及び配布、林業普及指導の実施、林業事業体の経営の中核となり得る現場技術者の養成 |
| 水産技術センター | 漁業・水産加工・魚介類の増養殖及び種苗開発・漁場環境に関する試験研究及び指導、水産業改良普及に係る事業の企画 |
| 内水面水産技術センター | 内水面漁業の調査研究及び指導、種苗の生産技術開発に係る試験研究、魚病に関する調査研究等 |
| 農業大学校 | 地域における農業担い手となる農業者等の養成 |
| 農業改良普及センター | 農業者に対する農業経営又は農村生活の改善に関する情報の提供、新規就農を促進するための情報の提供・相談その他の活動、農業普及員が事務を行うことにより得られた知見の集約 |

(2) 活躍している職種

| 職種区分 | 職員の構成（割合・人数） |
|------------|--------------|
| 農学 | 約 27% |
| 畜産 | 約 8% |
| 獣医師 | 約 5% |
| 林学 | 約 16% |
| 水産 | 約 8% |
| 総合土木 | 約 15% |
| 船舶職員 | 約 2% |
| 技能員 | 約 3% |
| 一般行政及び一般事務 | 約 16% |

※令和6年4月1日現在